

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	南あわじ市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	南あわじ市文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成31年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>重要無形民俗文化財については、平成23年度に保存継承計画を策定しており、これに基づき事業を実施する。</p> <p>(1)淡路人形浄瑠璃の普及啓発及び継承事業（平成23年度～平成30年度予定）</p> <p>地域住民のための伝統文化、伝統芸能体験事業を実施するとともに、その発表の場を設け普及啓発を実施する。</p> <p>(2)淡路だんじり唄の振興と研鑽と後継者育成事業（平成23年度～平成32年度予定）※平成31年度は計画改善時期のため未申請</p>			
6 実施体制			
<p>本事業の全体計画の調整、指導、衣装や道具等の文化財の取扱等に関する指導は関係機関の紹介、体験、普及啓発事業については南あわじ市教育委員会社会教育課が担う。具体的な事業の実施については、以下の団体が各事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)淡路人形協会（理事長：正井 良徳）：淡路人形浄瑠璃関係 ・だんじり唄振興研究会（会長：柏木 大）：淡路だんじり唄の振興と研鑽関係 			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 86,703 千円	平成31年度申請額： 992 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>(1) 市民の郷土の文化遺産の保存、次世代への継承等に対する関心や意識が向上し、市内の各地域における保存及び継承に関する活動のすそ野が拡大し、活性化が期待できる。</p> <p>(2) 少子高齢化が著しい地方の社会情勢下において、文化財保存団体や郷土芸能保存団体の後継者の獲得、人材育成に寄与することができる。</p> <p>(3) 市内各地域の文化遺産に触れ、体験する機会を創出することにより、その魅力を周知し市内への交流人口を増加させ、地域を活性化することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	無し		
事業概要：	無し		
事業概要：	無し		
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
無し			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	南あわじ市教育委員会社会教育課（芸術文化・文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分1:	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	淡路人形座への年間入場者数			関連事業:	①②③	
目標値1:	【現状値】平成29年度 51,012人 ⇒ 【目標値】平成33年度 56,900人					
設定根拠1:	平成28年度年間入場者数44,582人を元に、伸び率を年間5%と設定。					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
51,012人	53,333人					
0%	39%					
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	淡路人形座の座員数			関連事業:	①②	
目標値2:	【現状値】平成29年度 19人 ⇒ 【目標値】平成33年度 22人					
設定根拠2:	淡路人形浄瑠璃の継承への関心が高まり淡路人形座への就職が見込まれるため。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
19人	22人					
0%	100%					
目標区分3:	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分3:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	淡路人形浄瑠璃等後継者団体への入部者数			関連事業:	①②	
目標値3:	【現状値】平成29年度 36人 ⇒ 【目標値】平成33年度 40人					
設定根拠3:	淡路人形浄瑠璃等への関心が高まり後継者団体への入会が見込まれるため。					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
36人	34人					
0%	-50%					

